

持続型農業生産技術分野のこの一年

持続型農業生産技術分野長 教授 由比 進

春の訪れは早く、夏は恒例(!)となった異常高温の1年。8月23・24日、滝沢農場で「北海道・東北地域大学附属農場協議会」が開催されました。盆過ぎて涼しくなるとの甘い見通しを溶かし去る今夏一番の猛暑の中、冷房のない滝沢農場講義室で熱く有意義な協議会が執り行われました。

研究面では、降雪前の初冬にイネを播く奇想天外なプロジェクトが、本年度から始まりました。滝沢農場での季節外れのタネ播きが、複数の新聞・テレビニュースで取り上げられ、その後取材を継続している局もあります。また、滝沢農場で栽培したミニカリフラワー「姫かりふ®(三陸復興・地域創生推進機構)」が新聞・テレビに取り上げられました。いずれも県内版と東北版でしたが、全国版に取り上げられる話題に育て上げていきたいものです。

農場と牧場を利用した勉強会や公開講座も、例年通り盛んに行われています。岩手ブルーベリーの会、ブランドリングである冬恋(はるか)研究会、親子でふれあう牧場体験～赤ちゃんうし誕生観察会などは、その例です。また学内では、学生特別支援室と共同で特別支援学生向けの活動プログラムを開始しました。少人数ながら参加者にはよい経験のようで、今後の継続を話し合っているところです。学外の教育機関では、菓子保育園、教育学部附属特別支援学校、県立みたち特別支援学校、東北学院中学、富士大学、岩手県立大学、盛岡大学、東京農工大学共同獣医学科など、昨年同様に多くの実習を受け入れました。

販売関係では、ブルーベリー摘み取り会、学内外での各種販売会も例年通り好評を博しています。米価や子牛価格がやや下落する中、第二分野の売り上げは当初計画に近い数字を達成することができました。

人の動きでは、産休・育休に入った吉田晴香さんが変わって、11月からは社会経験豊富な大堰康夫さんが、農場の運営に参加しています。残念なことに、本年度はやや大きい事故が2件起きてしまいました。来年度は無事故で締めくくられるよう、心を引き締めていきましょう。



東北学院中学、ダイズの収穫体験実習



写す人を写す。

教育関係共同利用拠点事業のこの一年を振り返って(演習林)

循環型森林管理技術分野 農学系第二技術室長 佐々木 一也

本リーフレットでも既報のとおり、演習林は文部科学省から「教育関係共同利用拠点」として認定を受けました(平成28年)。今年度は、平成33年度までを事業年度とする中間年度に当たっています。

認定にあたって「森林科学系以外の学生向けの教育プログラムの充実」が期待された中、今年度は他大学向けの単位認定に係る授業科目11科目のうち森林科学系以外(社会科学系、理学系等)の学生が8科目を受講するとともに、利用大学数11校のうち森林科学系以外の大学が5校となっています。また、今年度の利用学生延人数は525名と昨年度の353名から大幅に増加し、このうち森林科学系以外が282名と半分を超えるまでになっています。

さらに、本事業のプログラムにはオーダーメイド型と一般公募型がありますが、今年度の利用大学は、前者において鹿児島大学、富士大学、岩手県立大学、日本女子大学、東

京大学、後者において日本大学、静岡大学、岩手県立大学、酪農学園大学、高知大学、東京農工大学と、利用大学の幅も広がってきています(実習の様子について裏面を参照)。

このように実績を残してきた共同利用拠点事業を今後とも継続していくためにも、来年度からもさらに内容の充実や拡大に向けて取り組むこととしています。



教育関係共同利用拠点の実習風景 - 日本女子大学 -

循環型森林管理技術分野 特任助教 高田 乃倫予

本年度に開講された日本女子大学の实習の一部である森林植物学、森林土壌学の実習内容をご紹介します。

森林植物学の実習は、20種類以上の植物の標本を採取し、植物の特徴から植物を同定する方法を学びます。学生は植物の細かい特徴まで捉えようと真剣な眼差しで植物と向き合っていました。

森林土壌学の実習は、深さ1メートルほど掘った穴の断面に見られる土壌層を観察し、森林土壌の成り立ちや特徴を学びます。斜面上部、下部を1班、5、6人の班員で交代しながら土壌を掘ります。8月の暑さの中、あちらこちらで土壌掘りに苦戦する声が聞こえましたが、掘り終わるとほっとした笑顔が見られました。初めて見る森林土壌層を班員で意見を出し合いスケッチしながら、斜面上部と下部での土壌層構成の違いに理解を深めていました。観察後、土壌を埋め戻し少し踏み固め元の状態に戻しました。観察するだけでなく掘るといふ作業を通じて森林土壌の性質の違いを実感していました。



平成30年度 エクステンション活動一覧

職業的専門家(経営者・技術者等)を対象とするもの

1) 第15回森林技術者・森林ボランティアのための森林環境教育グレードアップカレッジ -森林社会の多様性理解による持続的森林環境管理への誘い-	H30.5/21(月)~25(金)
2) 森林施業基礎講習会(岩手県森林組合連合会初任者研修)	H30.5/25(金)
3) ブルーベリー視察研修	H30.6/15(金)
4) ブルーベリー栽培研修	H30.6/21(木)
5) 岩手ブルーベリーの会 平成30年度夏期講習会	H30.6/23(土)
6) ウシの直腸検査に関する技術研修	H30.6/25(月)~10/25(木)
7) 森林施業基礎講習会(岩手県森林組合連合会中級者研修)	H30.8/23(木)
8) 第73回フォレストテクニカルエクステンション-地域林業支援プログラム(10)	H30.9/5(水)~14(金)
9) ブルーベリー先進地視察研修	H30.9/11(火)
10) いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」	H30.9/20(木)
11) 第74回フォレストテクニカルエクステンション-岩大型作業路普及プログラム(41)	H30.10/1(月)~3(水)
12) 第75回フォレストテクニカルエクステンション-岩大型作業路普及プログラム(42)	H30.10/22(月)~23(火)
13) 第76回フォレストテクニカルエクステンション-岩大型作業路普及プログラム(43)	H30.11/6(火)
14) 広葉樹林天然更新技術研修ならびに意見交換会	H30.11/27(火)
15) ウシの生体内卵子回収、体外胚生産技術に関する技術研修	H31.1/28(月)~2/8(金)
16) 岩手ブルーベリーの会 平成30年度冬期講習会	H31.3/23(土)

一般市民・児童生徒を対象とするもの

1) 公開講座 第154回フィールドセミナー 植物観察シリーズ(26)	H30.6/3(日)
2) 第155回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(40)	H30.7/3(火)
3) 第156回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(41) -技術職員と学ぶ森林作業-	H30.7/4(水)
4) 第13回 哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」	H30.8/18(土)~19(日)
5) 公開講座「親子でふれあう牧場体験~赤ちゃんうし誕生観察~」	H30.9/22(土)~23(日)
6) 公開講座 第157回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(27)	H30.10/7(日)
7) 公開講座 第158回 フィールドセミナー 親子シリーズ(25)	H30.11/11(日)
8) 公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」	H31.2/17(日)
9) 公開講座 第159回 フィールドセミナー 親子シリーズ(26)	H31.3/24(日)

センター
開放的事業

1) 花苗販売会	H30.4/5(木)	6) エダマメ摘み取り販売会	H30.9/10(月)
2) ブルーベリー摘み取り販売会	H30.7/18(水)	7) 第20回森の駅市場	H30.11/30(金)
3) ブルーベリー摘み取り販売会	H30.7/25(水)	8) リンゴ即売会	H30.12/12(水)
4) ブルーベリー摘み取り販売会	H30.8/1(水)	9) リンゴ即売会	H31.1/16(水)
5) 第19回森の駅市場	H30.8/9(木)		

岩手大学農学部附属
寒冷フィールドサイエンス
教育研究センター

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-8 TEL:019(621)6234
[E-mail]fsciu@iwate-u.ac.jp [URL]http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fsciu/
発行責任者/寒冷フィールドサイエンス教育研究センター長 武田 純一
編集責任者/寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 山本 信次